

2 ゴールドコースト市観光部門プレゼンテーション

日 時 令和6年11月8日（金曜日）10時20分～11時
場 所 ゴールドコースト市庁舎 市議会ラウンジ
（Chambers Building 135 Bundall Road, Surfers Paradise）
応対者 ゴールドコースト市
観光局マーケティングマネージャー 小林 芳美

（小林マーケティングマネージャー プレゼンテーション）

ゴールドコーストの魅力

- 年間晴天日が300日間
 - 平均気温: 25度
 - 冬の日中平均気温: 20度/夏の日中平均気温: 29度
- 57キロ続く片浜の海岸線と人口運河に囲まれた街
 - 水のアクティビティが豊富
- アクティビティの宝庫
 - テマパーク・ゴルフ・マリネット、その他
- 世界自然遺産に指定されたレインフォレスト
 - 市内中心から車で約1時間15分で自然遺産の森へ
- 6番目に人口が多い都市型リゾート
 - 2023年統計人口 732,000人

EXPERIENCE GOLD COAST



- ゴールドコーストの一番の魅力は天気が良いことである。
年間晴天日が300日あり、オーストラリアで一番気候が良いと言われている。
- 人口運河は、ベニスとアムステルダム運河を足したもののよりも大きく、その運河でジェットスキー、カヌー、スタンドアップパドルなど、様々な水上アクティビティが行われている。また、海岸ではサーファーズパラダイスと呼ばれているようにサーフィンが盛んである。
- テマパークは五つあり、オーストラリアで一番多い。
また、30以上のゴルフ場がサーファーズパラダイスから30分以内にあり、「ゴルフファーズパラダイス」とも呼ばれている。
- 世界遺産に指定された森林帯もあり、ウォーキングツアーや夜の土ボタル観光などでにぎわっている。
- 人口は約73万2千人で、オーストラリアでは6番目に多い。

日本からのアクセス

主要な目的地

東京・成田からブリスベン

カンタス航空 デイリーサービス
ジェットスター航空 デイリーサービス

大阪・関西からブリスベン

ジェットスター航空 週4/5便

教育旅行（修学旅行や語学研修グループ）からの
高い関心

インセンティブ・グループの問い合わせ増加



EXPERIENCE GOLD COAST

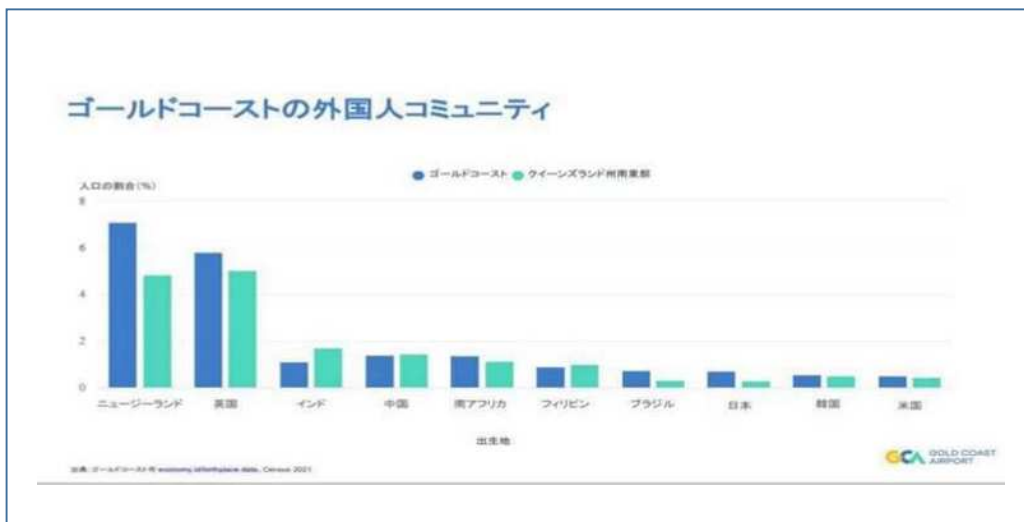
- 日本からはブリスベンが近く、成田空港から毎日、カンタス航空とジェットスター航空から定期便が出ている。
今年(2024年)2月から、関西国際空港からも週4～5便就航することになった。
- 修学旅行や語学研修などの教育旅行も多く、日本企業からのツアーに関する問い合わせも多い。

G:LINK GETTING AROUND

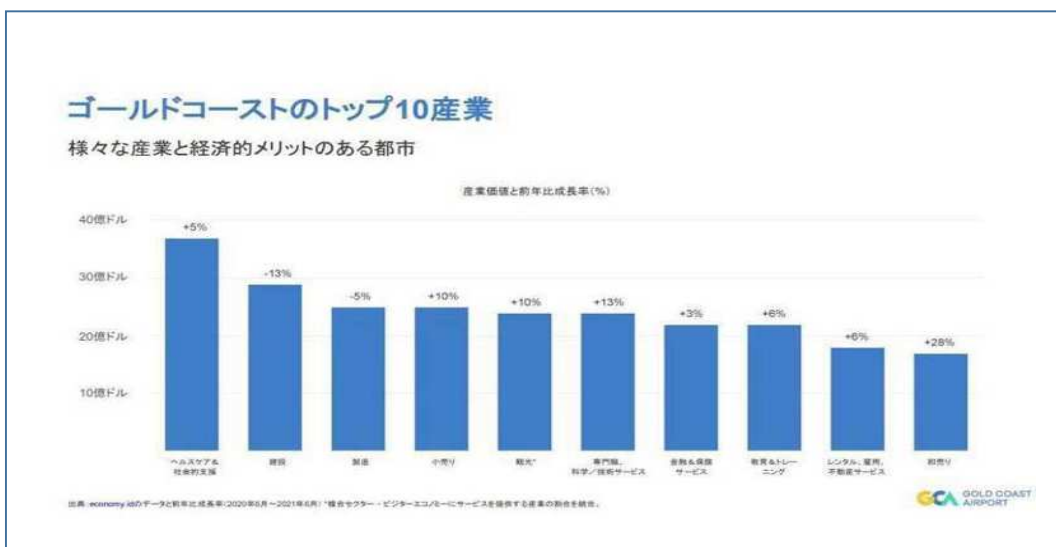
- ・ ゴールドコーストの移動に便利なトラム（路面電車）
- ・ ヘレンズベール駅からリーファーズ・パラダイスを通り、ブロードビーチまで（19駅）
- ・ 将来的にはゴールドコースト空港まで路線延長予定
- ・ クレジットカードをタッチして乗車
- ・ 日乗車券Go Explorer Cardならバスも 日乗り放題
- ・ 2025年には、バーレーヘッドまで延長工事中



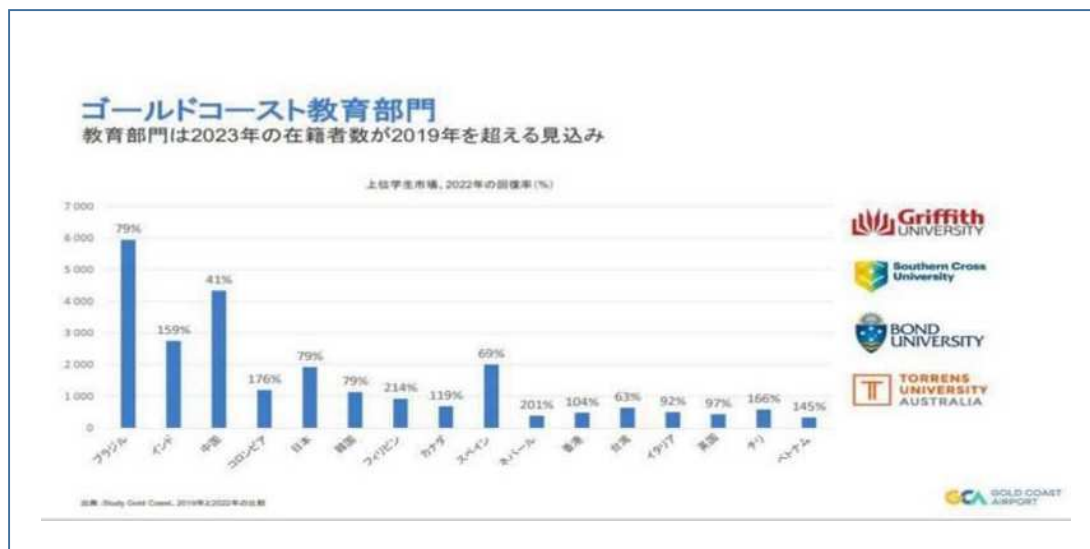
- 街中には路面電車が走っており、現在、路線の拡張工事が進められており、来年（2025年）には開通する予定である。
この拡張工事には、日本の商社の丸紅が関わっている。



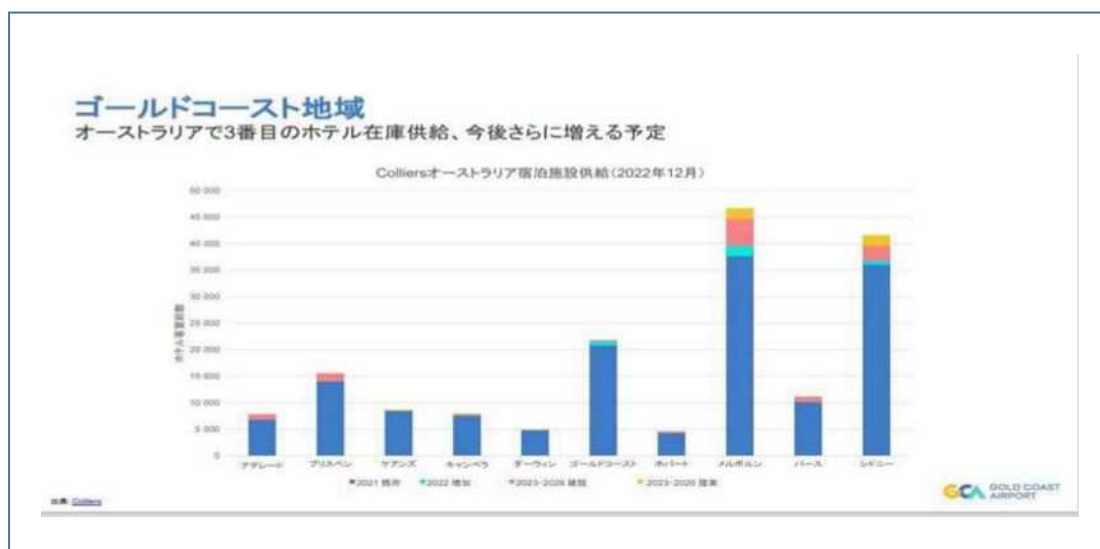
- ゴールドコースト在住の外国人は、ニュージーランドが一番多く、次いで英国となっているが、最近はインドや中国からの在住者も多い。日本は8番目である。日本語を教えている学校も多い。



- ゴールドコーストの産業は観光のイメージが強いが、実は一番多いのはヘルスケア関係であり、観光は5番目である。



- 市内には、グリフィス大学、サザンクロス大学、ボンド大学などのメジャーな大学があり、日本からも多くの留学生が訪れている。



- ホテルもメルボルン、シドニーに次いでオーストラリアで3番目に客室数が多く、様々なタイプの宿泊施設がある。



- ゴールドコーストは、MICE（マイス）にも力を入れており、クイーンズランド州で開催されるビジネスイベントの64%が開催地になっている。
- その理由として、会場となる施設が整っていることに加えて、たくさんのアクティビティーがそろっていることが挙げられる。
- 日本もビジネスイベントの誘致対象国であり、私も時々日本を訪れて誘致活動を行っている。

GCCEC
GOLDCOAST CONVENTION & EXHIBITION CENTRE

- ・ プラザビーチ、スターカジノに隣接
- ・ 宴会場として最大4,600 収容可能
- ・ 最新のオーディオ・ビジュアル設備完備
- ・ 徒歩圏内の宿泊施設にスターグランド、ダーリング、ドーセット、ソフィテルノードビーチホテルなど
- ・ サーファーズパラダイスの宿泊施設からトラムを利用してアクセス

 gold | convention and
coast | exhibition centre




- ゴールドコーストには、コンベンションセンターとエキジビションセンターがあり、最大で4,600 人の収容が可能である。
- 映像や音響の最新のハイテク設備が整っており、ビーチやカジノにも隣接し、宿泊施設にも近いため、非常に人気が高い。
- 神奈川の企業も、毎年ここでイベントを開催している。今年は、3,200 人がそのイベントに日本から参加した。

Imagi**EXTRAORDINARY OFF-SITE EXPERIENCES**



- その他に、テーマパークの貸切ができることも魅力の一つである。
それぞれのテーマパークは、だいたい 17 時に閉園になるが、その後 19 時から貸切ることが可能で、企業などのイベントでよく利用されている。



- スカイポイントの展望台や競馬場を貸し切り、宴会を行うこともできる。
どこでも貸し切れるというのもゴールドコーストの魅力である。

The Star Tower 2

- 2025年オープン予定
- スターゴールドコースト敷地内
- スターレジデンス（22階～65階）
437アパートメント
- ANDAZ (HYATT)（6階～21階）202



EXPERIENCE GOLD COAST

Mondrian Gold Coast

- 2025年Q1オープン予定
- オーストラリア初
- パーレイヘッズに立地
- 208ゲストルーム（スタンダード
ルームは、132室）



Ritz carlton

- 2026年オープン予定
- マリナズコーブ
- 4億8000万豪ドルを投じて開発
- 5スター
- 150ゲストルーム



EXPERIENCE GOLD COAST

St regis

- オーストラリア初の
セントレジスホテル
- タワー1は、2027年オープン予
定
- 185ゲストルーム



○ 今後、オリンピックに向けて、多くの5つ星ホテルの開業が予定されている。

FINE Dining



21のアワードを受賞したレストラン

EXPERIENCE GOLD COAST

○ 食事に関しても、様々な国で賞を取った一流のレストランがある。

CULTURE Explores

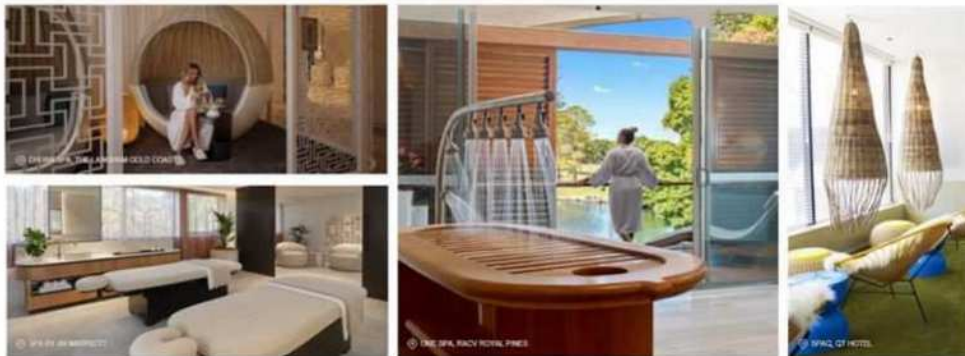


Jellurgal Aboriginal Cultural Centre
 ジェルガル・アボリジナル・カルチャーセンター
<https://www.jellurgal.com.au/tours>

EXPERIENCE GOLD COAST

- 先住民の歴史や文化、食事を学ぶ体験ツアーも豊富である。

WELLNESS Escapes



充実したスパ施設

EXPERIENCE GOLD COAST

- スパ施設も充実している。



- アクティビティー体験も、サーフィンやゴルフなど充実している。
ワイナリーツアーやホエールズウォッチング、ヘリコプターによる遊覧飛行なども簡単に手配できる。



- 160以上のアクティビティーが30分以内に用意できる。

Australia's **best** SHOPPING

パシフィックフェア

- * 400店舗以上、レストラン、カフェ、デパート×2
- * デザイナーズ&オーストラリアブランドショップ、デパート×2、スーパーマーケット×2
- * 無料シャトルバス、ビジターラウンジ

ハーバータウンプレミアム アウトレット

- * 220店舗以上
- * 最大ディスカウント70%
- * 無料シャトルバス、
- ツーリストラウンジ



EXPERIENCE GOLD COAST

- ショッピングモールやアウトレットも非常に充実していて人気がある。



Events YEAR-ROUND



EXPERIENCE GOLD COAST

EXPERIENCE GOLD COAST

- 街中で開催されるイベントも、マラソン大会や競馬など豊富である。

【 質疑・意見交換 】

(田中議員) これから新しいホテルがいろいろ建つとの話があったが、現状ではホテルの数は足りているのか。それとも足りていないのか。

(小林マネージャー)

シーズンによって足りていない時期もある。

ゴールドコーストのホテル利用者の90%はオーストラリア国内からの来訪者である。外国からの来訪者は10%に過ぎない。

こうした状況で、ゴールドコーストがインバウンドの誘致に力を入れているのは、外国からの観光客は観光地に落とす金額が大きいからである。

国内からの観光客は、年間4回ある学校の長期休暇に合わせて来ることが多い。そのため、学校の長期休暇に当たらない期間に、なるべく多くの外国からの観光客を誘致したいと考えている。

繁忙期のホテルの稼働率は90%を超えているが、国内からの来訪者はホテルを使わずにアパートを借りて長期滞在する人が多い。その点、外国からの観光客のほとんどはホテルに宿泊するので、外国からの観光客の誘致に力を入れている。

(藤代議員) 産業種別ではヘルスケアが1位ということだが、具体的にヘルスケアのどのような種類なのか。

(小林マネージャー)

以前は、ゴールドコーストへの移住者は、リタイアされた国内からの高齢者が多かった。そのため、福祉施設（老人ホーム）が充実しているという経緯がある。ただし、日本の老人ホームとは違って、ゴルフなどのアクティビティを楽しみたいという人たちが来ていた。

こうした施設で働く人が多く、日本人スタッフがいる福祉施設も多い。

また、大学病院が充実していて、最新の医療設備を備えており、コロナ前から感染症対策の病棟も整備されていた。心臓移植などの移植医療についても、アメリカからの最先端の医療を取り入れており、有名である。

(河本議員) オリンピックの開催に向けて、施設などについては新たに建てられるのか、それともコンパクトな形を目指しているのか。

(小林マネージャー)

2032年のオリンピックはブリスベンで開催されるが、ゴールドコーストでも一部の競技が開催される。

当初の計画では既存の施設を活用することを基本としていたが、収容人数が足りないのではないかということで見直しの動きもあった。ここでクイーンズランド州の政権も替わったので、どうなるのかまだ分からない状況である。

ただ、ゴールドコーストでは、最近、英連邦の国々が参加する大きなスポーツ大会が開催され、大きな室内競技場も整備されているので、柔道やバドミントンのほか、室外でのサーフィンやビーチバレーなどは既存の施設で開催することが可能である。



(市川議員) ホテルの建設ラッシュということだが、開発をするに当たって法令等で何かルールを作っているのか。

また、海岸がきれいだったが、海岸をきれいに維持するために、市から予算は出ているのか。

(小林マネージャー)

開発をする際の法令はいくつかある。

例えば、景観保護のため3階建て以上の建物を禁止している区域や、夜のネオンの色はブルー系の色に限定するなどが決められている。

また、海岸をきれいにするための予算であるが、高層階のビルに住んでいるような方には、税金を多く徴収してリゾート関連に使わせていただいているが、観光客からの税金等は特に徴収していない。

(阿部議員) オーバーツーリズムの問題はどうなっているのか。

(小林マネージャー)

オーバーツーリズムは、サステナビリティの面でも問題であると認識しており、特にコロナ前に問題となった。

オーバーツーリズムの対策としては、富裕層をターゲットとした観光戦略を行っている。付加価値の高い体験型のアクティビティの開発や高級ホテルの誘致などで、富裕層の呼び込みを図っている。



その結果、コロナ前と比べて宿泊費等は高くなっているが、その分、ビーチなどの観光資源を上質に保つなどして、街全体の価値を上げていこう(高級リゾート化)としている。

3 ゴールドコースト市海浜養浜部門プレゼンテーション

日 時 令和 6 年 11 月 8 日（金曜日）11 時～11 時 30 分
場 所 ゴールドコースト市庁舎 市議会ラウンジ
(Chambers Building 135 Bundall Road, Surfers Paradise)
対応者 ゴールドコースト市
シニア海岸エンジニア ダニエル・ハミルトン

(ダニエル・ハミルトン シニア海岸エンジニア プレゼンテーション)

Introduction

はじめに

- Second largest Local Government Area in Australia based on population
- One of Australia's premier coastal tourist markets
- World renowned beaches and surf breaks
- Pristine beaches and waterways that are loved by a growing city

- オーストラリアで二番目に多い在住人口を有する地方自治体エリア
- オーストラリアを代表する海岸観光地域の一つ
- 世界的に有名なビーチとサーフブレイク
- 急成長する都市に愛される手つかずのビーチと水域



○ ゴールドコースト市は、クイーンズランド州でブリスベンに次いで二番目に大きい都市である。

世界的にビーチとサーフィンで有名であり、世界で最も人気のある休暇滞在地の一つである。

これは、ゴールドコーストのビーチが、ゴールドコースト市にとって重要な資産であることを意味している。

○ 市が管理する海岸は、ニューサウスウェールズ州との境である、ポイントベンチャーという所から、サウスストラッププロップ島のジャンピングポイントまでの約 52 km に及ぶ。

Our Coastal Conditions 海岸の現在状況

- 34km of developed coast, 18km undeveloped coast
- Highly variable wave climate
- Average SE wave direction
 - Hs 1m to 1.5m
- High exposure to storm energy
 - Hs >6m, Hmax >13m
- Net longshore sand transport 500,000m³ to the north
- 開発済みの海岸線：34km、未開発の海岸線：18km
- 非常に変動の大きい波浪気候
- 波の方角は南東からが一般的
 - 一般的な波の高さ（Hs）：1mから1.5m
- 嵐の影響を大きく受ける
 - 有義波高（Hs）>6m、最大波高（Hmax）>13m
- 純海岸砂輸送量（北向き）：50万m³



- ゴールドコーストは、年間を通じて様々な波にさらされている。
- ビーチの南方からの波が 50 万～60 万km³の砂を北に運んでくる。
- 海岸の侵食に影響を及ぼす嵐として、夏には熱帯低気圧、冬には東海岸低気圧によって発生する大きなうねりの波がある。
つまり、年間を通して侵食波は北から南まで来る可能性があり、年間を通じて異なる時期に海岸線の異なる箇所が脆弱になる。
- その例として、2013 年のサイクロン・オズワルドは、南部よりも北部の海岸線に大きな打撃を与えた。その一方で、2009 年の東海岸低気圧では、南部のパームビーチ全体に大きな侵食を引き起こしたが、北部のビーチへの影響は小さかった。
- 海岸保全は非常に困難な業務である。
それは、一番ダメージを受けやすい場所に施設を設置し、維持して行かなければならないからである。
- ゴールドコーストのビーチを失うことは、観光資源を失うことである。
そのため、私たちは単にビーチを保全するだけでなく、美しい海岸線とビーチを維持していくことを使命としてきた。

Current Beach Management 現在の海浜管理体制

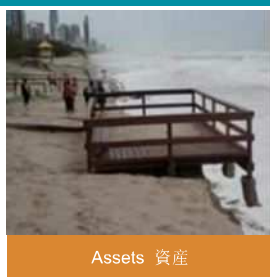
Beach management is driven by the City's Vision of "Inspired by lifestyle. Driven by opportunity." (Gold Coast 2032)

ゴールドコースト市は、“Inspired by lifestyle. Driven by opportunity（ライフスタイルに刺激され、機会に導かれる）”という長期ビジョン（Gold Coast 2032）を掲げており、海岸管理もそれに基づいて計画されています。



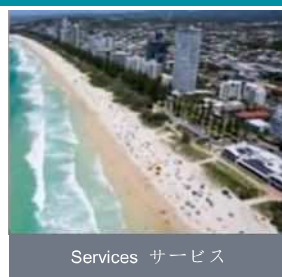
- ゴールドコースト市では、2032 年に向けた長期ビジョンを策定しており、海岸管理もこれに基づき計画されている。
- 海岸の管理は、ゴールドコーストの日常的管理及び長期的な管理について規定されている、「オーシャンビーチ戦略」及び「海岸線管理計画」に基づき行われている。
- ゴールドコーストの海岸と水路の継続的な保護と管理を支援・保護するため、ゴールドコースト市は、今年度(2024 年度)、資本的支出に約 1,680 万豪ドル(約 16 億 8 千万円)、運営費に約 1,900 万豪ドル(約 19 億円)を当てている。

Managing our Coastal Asset Base and Services 海岸資産とサービスの管理



Assets 資産

- Managing assets in very hostile terrain
- Sacrificial vs protected
- 非常に過酷な地形での資産管理
- 犠牲にするもの、保護するもの



Services サービス

- Lifeguards, Beach Cleaning, Beach Profiling
- Nourishment (dredging, bypass, backpass)
- Storm Response, Emergency Repairs, Maintenance
- ライフガード、ビーチ清掃、ビーチプロファイリング、イベント
- 補砂（浚渫、バイパス、バックパス）
- 嵐への対応、緊急修理、メンテナンス 海岸リスクマネジメント枠組



Coastal Risk Management Framework
海岸リスクマネジメント枠組

- Identify the coastal hazards our current asset base is exposed to
- Prioritise/manage at-risk assets
- 現在の資産基盤が曝されている海岸リスクを特定する
- リスクの高い資産を優先順位付けし、管理する

- ゴールドコースト市は、誰もがそれぞれに合った方法でビーチや前浜にアクセス・利用できるよう、多大な努力をしている。
- これには、普段、誰もが慣れ親しんでいるビーチの水準を保つために定期的に要する多くの資産と、それよりも更に多くを要するサービスを伴っている。
- ライフガードと市の清掃員も毎日ビーチの清掃・管理に取り組み、また、ビーチメンテナンスチームが、常に暴風雨による被害に対応できるようになっている。

The Challenges 課題



Constrained by Development
開発による制約

- Early development pattern
- Continued pressure for development encroachment
- 初期の開発パターン
- 継続的な開発圧力



Coastal Erosion
海岸浸食

- Rising sea levels
- Storm erosion
- Potential rotation of swell direction
- Sediment supply
- 海面上昇
- 嵐による浸食
- うねり方向が変化する可能性
- 土砂供給



Population Increases
人口増加

- Growing population and tourism
- Pressure on coastal assets and services
- Competing beach use needs
- 住民や観光客の増加
- 海岸資産とサービスへの圧力
- 様々なビーチ利用ニーズの競合

- 他のビーチを見て回った中には、多くの人が利用するにもかかわらず、それに応じたインフラや資産がないために、明らかに荒廃の危険にさらされているビーチがいくつかあった。
- 人口 70 万人の私たちのゴールドコーストのビーチには、年間 1,100 万人の観光客が訪れる。
合計すると、年間で約 3,000 万人、一日当たり 9.3 万人がビーチを利用していると考えられる。

The Management Solutions 管理ソリューション



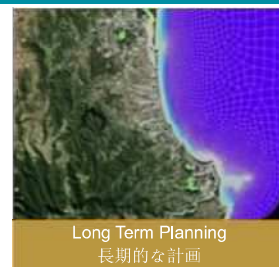
Coastal Protection 海岸保護

- Upgrade existing protection (i.e seawalls, training walls)
- New coastal protection structures required
- Heavily integrated and reliant on sand management
- 既存の保護設備のアップグレード（例：防波堤、導流壁）
- 新たに必要とされる海岸保護構造物
- 非常に統合的で、砂の管理に依存



Beach Nourishment 養浜

- Increasing demand for all uses
- How wide the beaches are and how wide they need to be
- World famous beaches and surf breaks
- 各種用途の需要増加
- ビーチ幅の現状と必要幅
- 世界的に有名なビーチとサーフブレイク



Long Term Planning
長期的な計画

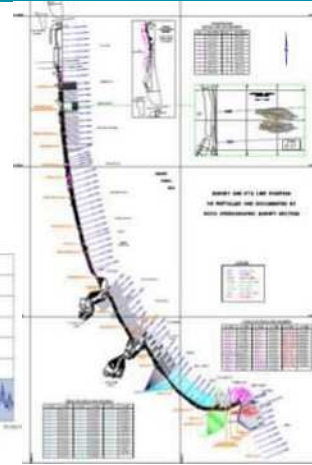
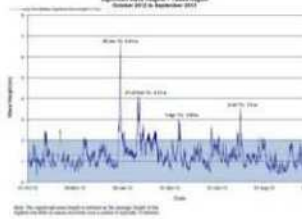
- Gold Coast Beach Resilience Scheme
- Implementation and timeframes, risk vs time
- ゴールドコースト・ビーチ・レジリエンス・スキーム
- 実施タイムフレーム、リスク対時間

- これからは、20 年後を見据えた、いくつかの課題についてお話しする。
- ゴールドコースト海岸の資産は、将来の気象条件に対応するためにアップグレードする必要がある。

Coastal Monitoring Programs 海岸モニタリングプログラム

- Hydrographic Survey
- Shoreline Position Monitoring – Fixed Camera
- Usage Surveys – Drone Cameras, Fixed Cameras, Lifeguards Counts, Mobile Phone Network
- Wave Buoy Data
- Wave Tracking – Fixed Cameras
- Surf Monitoring – Fixed Cameras

- 水路測量
- 海岸線位置のモニタリング – 固定カメラ
- 利用状況調査 – ドローンカメラ、固定カメラ、ライフガードによる計数、携帯電話ネットワーク
- 波浪ブイのデータ
- 波の追跡 – 固定カメラ
- サーフモニタリング – 固定カメラ



- 我々は、50年にわたり、毎年、海岸線や海岸施設の位置を把握して地図に落とし、ビーチの侵食や長期的な湾岸の動きや傾向、海面水位の上昇を把握し、海岸侵食のリスクを回避している。

毎年、こうした長期的な記録を追跡・分析して海岸の浸食リスクを計算し、資本投資の優先順位を決めて海岸整備にあたっている。

また、監視カメラによる海岸状態の監視も行っている。

- データ収集は1960年代から継続して、次のデータについて実施している。
- 「水路測量」
 - 水泳、ジェットスキー、ボート（船）での作業を組み合わせ調査を行う専門の水路調査チームである。
 - ゴールドコーストのデータ収集プログラムは1965年に開始され、世界で最も広範囲にわたるビーチ・プロファイルの継続データ集を提供している。
- 「ウェーブ・ライダー・ブイ（波乗りブイ）」
 - ブイは、暴風雨や高波が連続・持続することによって生じる海岸線の位置への影響を特定し予測するために不可欠な「方向波データ」を収集する。
- 「海岸の画像処理」
 - ゴールドコースト市は、海岸線の位置、沿岸地形（砂州の位置）に関する長期データを提供し、将来の海岸工事についての設計作業を支援する、「海岸画像サービス」を行っている。
- 「地質学的データの収集」
 - 地震探査、マルチビームソナー、コアサンプリング、グラブサンプリングなどを含み、将来の浚渫事業の一部に使用される可能性のある、沖合に存在する砂の埋蔵量を定量化するものである。
- 「生態調査」
 - ゴールドコースト市は、沿岸のサンゴ礁の生態系の多様性を調査し評価するために、遠隔操作車両とダイバーを使って、決められた区間に沿ってビデオ画像を収集している。
 - この情報は、栄養補給や浚渫事業のために天然サンゴ礁周辺の立入禁止区域を設定する際に活用されている。また、生態系への潜在的な影響や、海岸線の特定区域の集団利用への影響を懸念する地元利害関係者団体からも期待されている。

Iconic Coastal Projects – Dredging, bypassing and now backpassing 象徴的な海岸プロジェクト — 浚渫、バイパス、バックパス

- Creek Entrance Training and Sand Bypass
- Currumbin Creek in 1980 – annual dredging
- Tallebudgera Creek in 1976 – annual dredging
- Nerang River in 1986 – GCWA Bypass
- Tweed River in 2000 – TRESBP Bypass
- Surfers Paradise Sand Backpass System 2024

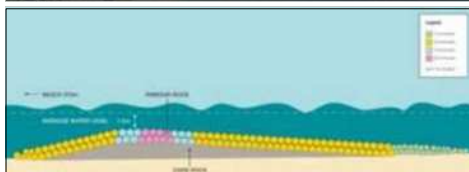
- 河口部の整備と砂のバイパス
- 1980年のカランビン・クリーク — 年次浚渫
- 1976年のタレブジェラ・クリーク — 年次浚渫
- 1986年のネラン川 — GCWAバイパス
- 2000年のツイード川 — TRESBPバイパス
- 2024年のサーファーズパラダイス・サンド・バックパス・システム



- ゴールドコーストはリゾート地として発展してきた経緯から、当初はリゾート地として利用される区域のみに目が向けられ、広い視野での海岸整備が行われていなかった。そのため、1960年代には、嵐により海岸インフラが大規模に損傷された。
- こうしたことを受けて、ゴールドコースト市では海岸侵食を防止するために16 kmに及ぶ大規模な防波堤を整備することとなった。
- また、ビーチの砂の量を維持するための補給作業も行っている。
河口南側の砂を採取して、北側に移すというプラントを設置している。
シーウェイ栈橋からサーファーズパラダイスまでの約8 kmのパイプラインを設置し、栈橋からサーファーズパラダイスまで砂を送ることで、北部ビーチの砂の量を維持できるようにした。

Iconic Coastal Projects – Offshore Works 象徴的な海岸プロジェクト — 沖合工事

- Large Scale Offshore Sand Nourishment
- Two artificial reefs (Narrowneck, Palm Beach)
- 大規模な沖合砂養浜工事
- 2つの人工リーフ（ナローネック、パームビーチ）



- これら陸上の2つの湾岸保護工事に加えて、2つの人工保護リーフも設置し、沿岸に沿って定期的に大量の沖合砂が補給されるようにしている。このプラントによって、ビーチは自然な方法で侵食から守られ維持されることになった。
- 私たちは、ゴールドコーストでは砂は金と同じ位の価値があると思っている。



Summary

まとめ

- The City of Gold Coast has experienced its share of coastal issues
- Issues are not only related to climate, erosion and coastal risk – but also with beach usage, competing beach space and pressure to develop on the sand
- We are proactively managing the coastal resources of the City, and improving the capacity of the community to prepare for and react to coastal issues
- ゴールドコースト市は、海岸に関する課題をいくつも乗り越えてきました。
- 課題は気候、侵食、海岸リスクにとどまらず、ビーチの利用、ビーチ空間の競合、砂上での開発圧力にも関連しています。
- 私たちは市の海岸資源を積極的に管理し、問題に備え対応するために、コミュニティの能力を向上させています




- こうした主要プロジェクトを実施していくことで、ゴールドコースト市は、今後20年間は、気候変動や暴風雨に対応できるようになる。
- そして私たちは、これからもビーチの快適性とサービスのレベルを監視し、改善し続けていく。

【 質疑・意見交換 】

(京島議員) 世界全体に気候変動や異常気象が予想外のスピードで訪れている中、50年の長期にわたるデータを基に対策を進めてきたと伺ったが、それ以上の大きな嵐などによる海岸侵食は想定していないのか。

(ダニエル シニア海岸エンジニア)

今までの50年間では想定できないこともあり得ると考えている。

我々は、今後50年から100年の間でどのようなことが起こり得るかということを念頭に海岸保全の計画を立てている。

(柳下議長) 海岸の保全は理解できたが、海岸生物を守る取組はどのようなことをされているのか。

(ダニエル シニア海岸エンジニア)

生物保護や生物多様性への配慮については重要であると考えており、パームビーチの周辺区域において、生物保護のための取組が進められている。

ただし、まだ分かっていないことも多く、今後の研究も必要であると考えているところである。

(柳下議長) 神奈川県でも海岸侵食は大きな問題となっていて、予算をかけてもなかなか良い結果に結び付いていないと感じるのだが、いい意味で連携を取れるようなことを考えていければ良いと思っている。



4 サンドバイパスポンプ場栈橋 (Sand Bypass Pumping Jetty) 視察

日 時 令和6年11月8日(金曜日) 12時~12時50分
場 所 サンドバイパスポンプ場及び栈橋
(499 Seaworld Drive, Main Beach)
対応者 サンドバイパスポンプ場
マネージャー アダム・ノリス ほか

(サンドバイパスポンプ栈橋の概要)

- ゴールドコーストビーチの砂は、風、波、気候条件の影響により、自然に北方向に流れて侵食が進む。
- 海岸の砂の侵食を防ぐため、栈橋から汲み上げた砂を、地下パイプラインを通じて侵食されたビーチ運び戻すシステムである。
- 汲み上げた砂は、海路の下にあるパイプを通して河口の北側のサウス・ストラドブローック島に流している。
- 今年6月からは、栈橋から南のサーファーズパラダイスまでの約8kmの距離をパイプで埋めて、砂を戻し放出するサーファーズパラダイス サンドバックパスパイプライン プロジェクトが始まっている。

(アダム・ノリス マネージャー 説明)

- 河口の南側にあるこの栈橋では、海底の砂を海水と一緒に吸い上げて沈殿槽において沈殿してきた砂のみを、パイプラインにより河口北側のビーチに送り出している。
- 採取した砂を全部河口北側のビーチに送るのではなく、採取した元の河口南側に戻すこと(バックパス)もしている。
これは、河口南側に嵐による砂の侵食被害が生じた場合に、回復を早めることが出来るようにするためである。
- 栈橋からは計10台のジェットポンプがあり、そこから砂と海水を吸い取ってゴミを取り出し、対岸に砂を送り込んでいる。
- 海岸の砂を掘り出してダンプで運搬するには、1m³当たり約50豪ドル(約5千円)掛かる。年間50万m³移送するのであれば、約2,500万豪ドル(約25億円)になる。
このパイプラインで移送すれば、約10分の1の費用で済む。



【 質疑・意見交換 】

(柳下議長) パイプは砂の下に埋めてあるのか。

(ポンプ場職員) ビーチにあるパイプは、すべて砂の中に埋めてある。

(河本議員) ポンプのメンテナンスはどのくらいの頻度で行っているのか。

(ポンプ場職員) 栈橋にある砂採取用のポンプは、400~500時間でメンテナンスを実施している。

その他のポンプは、2~3年に1回のメンテナンスである。

(藤代議員) パイプは錆びないのか。

(ポンプ場職員) パイプはポリウレタン製なので、海水でも錆びないし非常に強い。
ポンプ場が約 40 年前にできてから、1 mm 程度しか侵食していない。

(京島議員) 日本では河川法でいかなる場合も川の流れや形状を変えてはいけないの
だが、オーストラリアではそのような制限はないのか。

(ポンプ場職員) ここでは河川の流れを変えるようなことは行っていない。
あくまでも自然に溜まった砂を、河川の形状を変えずに移すだけ
である。



5 ゴールドコースト市議会 グレン・トーザー議員との昼食会

日 時 令和6年11月8日（金曜日）13時～14時
場 所 サウスポートヨットクラブ
（1 Macarthur Parade, Main Beach）
出席者 ゴールドコースト市議会議員 グレン・トーザー（Glenn Tozer）
ゴールドコースト市
教育担当エグゼクティブディレクター ジェニン・タックス（Jennine TAX）
観光局マーケティングマネージャー 小林 芳美
シニア国際連携アドバイザー カトリーナ・メトカーフ（Katrina Metcalfe）
国際連携プロジェクトオフィサー ハンナ・コリー（Hannah Colley）
2023年ゴールドコースト市長学生大使 フジタ ショウヤ
ゴールドコーストライフガード アシュリー・ウィリアム（Ashley William）

（グレン・トーザー 議員 あいさつ）

- ゴールドコースト市によろこそ。
皆様をお招きして昼食会を開くことができ、とてもうれしく思います。
- 友好提携35周年を迎える神奈川県とゴールドコースト市とは、ライフガードの交流などを通して親密な関係を築いてきました。
- 本日は、共通する話題などを話し合いながら、楽しく食事をし、交流を更に深めたいと考えています。

（柳下 剛 議長 あいさつ）

- 本日は、このような盛大な昼食会を開いていただき、心からお礼申し上げます。
- 今回の訪問を通して、ゴールドコーストをはじめ、オーストラリアの人たちが大変フレンドリーで、日本に対して大変親密な気持ちを持っていたいことをいろいろな所で感じ取ることができました。
- 改めて、神奈川県とゴールドコースト市の友好関係を、さらに深めていきたいと思った次第です。
- 本日は、どうぞよろしくお願いいたします。



6 スカイポイント展望台視察

日 時 令和6年11月8日（金曜日）14時30分～15時
場 所 スカイポイント展望台（SkyPoint Observation Deck）
（Q1 Building, 9 Hamilton Avenue, Surfers Paradise）

（スカイポイント展望台の概要）

- ゴールドコーストで一番の高さを誇るQ1（キュー・ワン）の77階にある展望台。
- 海拔230mの高さまで43秒で到達するエレベーターを有する。
- サーファーズパラダイスの中心に位置し、ゴールドコーストを一望できる。



（スカイポイントから海岸北側）



（スカイポイントから海岸南側）



（スカイポイントから市街地側）

7 ライフガードセンター 視察

日 時 令和6年11月8日（金曜日）15時30分～16時30分
場 所 ライフガードセンター
（Warren Young Lifeguard Centre, The Esplanade, Justins
Park, Burleigh Heads）
応対者 ライフガードセンター
マネージャー ジム・ディクソン
総務担当 トレイシー ほか

（ジム・ディクソン マネージャー 説明）

- ライフガードセンターでは、ゴールドコーストの 57km に及ぶ広い範囲のビーチを少ない人数でカバーしている。
- センターの運営経費等については、ゴールドコースト市から相応の予算をもらっている。
- 神奈川県とゴールドコースト市は、長期にわたって非常に緊密な交流を続けてきており、私も今年(2024 年) 7 月に神奈川県を訪問してきた。
来々(2025 年)は友好提携 35 周年を迎え、神奈川県から訪問団が来ると聞いている。
- ゴールドコーストでは、約 100 年にわたりプロによるライフガードサービスを提供してきた。
- 我々ライフガードは、ビーチの安全を守るだけでなく、街の顔役としての役割も果たしている。
- ライフガードの一番の役割であるビーチの安全を守る取組については、まず、毎朝各地のビーチの状況を確認し、その結果を朝のミーティングで共有し、どこを遊泳禁止にするかなど、ビーチ運営に関することを決めている。
また、これらの情報は、コンピュータ管理されており、すべてのビーチの状況をいつでも把握できるようになっている。
ライフガードがいる監視塔にはカメラも設置されており、ビーチの様子をリモート映像で確認することも出来る。
- 神奈川県出身のライフガードも 2 名こちらで働いて活躍している。
- ライフガードの配置は季節や日によって毎日変わるので、勤務表を作る作業が大変である。大きなジグソーパズルを作るような作業である。



【質疑・意見交換】

(京島議員) ライフガードがビーチの安全のために注意や指示をすることができると聞いたが、注意を受けた人からの反発などはないのか。

(ジム マネージャー)

確かに、注意を受けた誰もが言うことを聞くということではなく、特に 18 歳から 30 歳ぐらいまでの男性は言うことを聞かないことが多い。

普段から公共の教育の場において、ライフガードの話は聞きましょうということを行い、その他にも広報・周知を行っているが、こうした取り組みが重要であると思う。それでも言うことを聞かない人たちはいるが……。

(京島議員) ライフガードの教育普及という点では、こちらの取組は充実していると感じた。

(河本議員) ライフガード活動の理解には教育・広報が重要だとのことだが、小・中学校などの教育機関と連携した取組にはどのようなことがあるのか。

(ジム マネージャー)

ライフガードセンターにも、教育担当のオフィサーがいて、小学校などを巡回して教育・普及活動を行っている。水難事故の防止が中心だが、そうしたこと通じてライフガードの取組の重要性についても話をして理解してもらっているようにしている。

また、ライフガードのオーストラリア全体を統括している組織である、「オーストラリアライフガード協会」においても、同様に小・中学校を巡回して教育活動を行っている。

私が神奈川県を訪問して黒岩知事と話をした際にも、こうした教育活動を行ったらどうかと提案させてもらった。



(柳下議長) ライフガードになるには、何か資格があるのか。

(ジム マネージャー)

資格はある。資格を取得するためには、救命救急の知識とレスキュー（救助）の技能を身に付ける必要がある。体力テストもある。

(柳下議長) 日本から来てライフガードをやっている女性が 2 人いるとのことだが、その人たちも資格を取ったのか。

(ジム マネージャー)

そのとおりである。

(柳下議長) 外国からこちらに来てライフガードとして働いている人はいるのか。

(ジム マネージャー)

ブラジル、イギリス、フランス、スペイン、ニュージーランドの人でもライフガードとして働いている。

また、日本とはライフガードの交換交流の制度があるので、常時、一定数を受け入れている。

ゴールドコーストには海外からも多くの人々がビーチを訪れるので、母国語を話せるライフガードがいることで大変助かっている。

(藤代議員) ライフガードセンターの運営や機材の購入、人件費などのすべては市からの財政的な支援で賄われているのか。

クイーンズランド州からの支援もあるのか。

(ジム マネージャー)

すべて市からの支援である。その他に寄付もある。

ゴールドコースト市は、ビーチは貴重な観光資源であるという意識が非常に強い。

(青山議員) 今は人を確保するのに苦労する時代であるが、ライフガードの人材確保については、どのように取り組んでいるのか。

(ジム マネージャー)

ゴールドコーストは、ライフガードにとっての聖地であり、あこがれとなっているため、人材確保に苦労したことは無い。

先日も50人のライフセーバーを募集したところ、130人の応募があった。

また、子どもを対象にライフガード競技を楽しむ「ニッパ」というクラブがあり、子どもの頃からライフガードに親しむ機会があることも、人材確保につながっていると思う。

(記念品の交換)

— 柳下議長からジム マネージャーに、扇子(神奈川冲浪裏)ペンケースを贈呈 —

— ジム マネージャーから訪問団全員に、ライフガード帽子を受領 —

